

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-211713(P2004-211713A)

【公開日】平成16年7月29日(2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-029

【出願番号】特願2004-128001(P2004-128001)

【国際特許分類第7版】

F 02D 9/10

F 02D 9/00

F 02D 9/02

F 02D 11/10

F 02D 35/00

【F I】

F 02D 9/10 H

F 02D 9/00 A

F 02D 9/02 3 5 1 M

F 02D 11/10 E

F 02D 35/00 3 6 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月17日(2004.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吸気通路を横切り回動可能に設けられたスロットルシャフトをギアを介してモータにより回動駆動し、該スロットルシャフトに固定されたスロットルバルブの開閉により吸入空気量を制御する内燃機関のスロットル制御装置において、

前記スロットルバルブの開度を検出するために、センサ基板とブラシとを備えるセンサ部を有し、

前記ブラシを、カバーに形成された挿通孔から突き出た前記スロットルシャフトの外端部に嵌合させたブラシレバーに一体的に固着して、

前記センサ部を、前記カバーの外側に前記カバーとプレートとで形成したセンサ室内に収容したことを特徴とする内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項2】

前記ブラシを、前記ブラシレバーの外側に外方に向けて固定した請求項1記載の内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項3】

前記センサ基板を、前記カバーと前記プレートとで狭持して固定した請求項1又は請求項2記載の内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項4】

前記センサ基板を、前記カバーに形成された段差に当接させて位置決めする請求項3記載の内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項5】

前記ブラシレバーの前記スロットルシャフト外端部との嵌合部分を逃がすための逃がし

孔を前記センサ基板に形成した請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の内燃機関のスロットル制御装置。